

令和5年度

事業報告書

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

社会福祉法人 津野町社会福祉協議会

事業実績の概要

それぞれの住民が役割や生きがいを持ち、地域をともに創っていく地域共生社会を実現するため「断らない相談支援」、「参加支援」、「地域づくりに向けた支援」を一体的に行いながら、地域住民や民生児童委員、ボランティア、関係機関等と協働して事業を推進しました。

また、法人としての使命や経営理念を明確にし、今後本会が果たしていく役割やそれに応じた組織体制、事業の在り方について社協発展・強化計画を策定し、地域福祉活動を展開していくことを確認しました。

<令和5年度重点的な取り組みの評価>

1. 福祉委員活動の推進

福祉委員として小地域での見守り活動を行ってもらえるように「見守る・知らせる・つながる」をキーワードに役割の周知を行いました。

福祉座談会や福祉委員・民生児童委員合同研修会、福祉パトロールへの参画を通して福祉委員と民生児童委員がつながり、地域の見守り支援者が増えるよう今後も取り組みを継続します。

2. チーム支援ができる体制整備

地域支援と個別支援について検討するプロ会を定期的を開催し、事業の推進方法や個人へのアプローチについて職員間で意識共有を図りました。

津野町社協がひとつのチームとして地域福祉活動を展開できるように職員間の連携をさらに深めていく必要性を感じました。

3. 社協発展・強化計画(中長期計画)策定のための体制づくり

正副会長・事務局会で計画策定の重要性と体制構築に向けた方向性について確認しました。計画策定に向けて、事務局検討会を立ち上げ、さらなる取り組みを進めていきます。

1. 法人基盤整備・強化

(1) 評議員、役員組織運営

■ 理事会

法人の業務執行の決定機関として、事業経営を行った。

6月23日から新しい体制となり、会長に高橋保章氏、副会長に大崎登氏が就任（いずれも再任）した。また、10月18日の役職員町内視察研修では集落活動センター「奥四万十の郷」の取り組みについて学ぶとともに、郷・芳生野地区の地域の状況を視察した。

<理事会の開催状況>

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和5年 6月8日（木） 津野町老人 福祉センター	第1回理事会 理事7名 [監事2名、 事務局7名]	《議案》 第1号 令和4年度事業報告 第2号 令和4年度収支決算 第3号 令和5年度第1次補正予算 第4号 非常勤職員給与並びに旅費等 規程の一部改正 第5号 評議員選任・解任委員の選任 第6号 理事、監事候補者の選定 第7号 ボランティア活動・福祉教育 推進事業助成金交付対象事業の 承認 第8号 評議員会の招集
令和5年 6月23日（金） 津野町総合保健 福祉センター	第2回理事会 理事8名 [監事2名、 事務局1名]	《議案》 第1号 会長、副会長の選定 《協議報告》 ①令和5年度役職員研修について
令和5年 10月18日（水） 津野町老人 福祉センター	第3回理事会 理事7名 [監事2名、 事務局7名]	《議案》 第1号 非常勤職員給与並びに旅費等 規程の一部改正 《協議報告》 ①会長職務執行状況報告 ②町内訪問介護事業所の動向 ③共同募金歳末事業の資金づくり ④役職員町内研修の振り返り

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和5年 12月18日（月） 津野町総合保健 福祉センター	第4回理事会 理事8名 [監事2名、 事務局6名]	《議案》 第1号 令和5年度第2次補正予算 第2号 評議員会の招集 《協議報告》 ①中間監査報告 ②マイクロバスの故障と今後の対応について ③歳末たすけあい募金の状況について ④歳末ふれあい特別弁当について
令和6年 3月12日（火） 津野町老人 福祉センター	第5回理事会 理事7名 [監事2名、 事務局7名]	《議案》 第1号 令和5年度第3次補正予算 第2号 令和6年度事業計画 第3号 令和6年度収支予算 第4号 非常勤職員給与並びに旅費等 規程の一部改正 第5号 基準該当訪問介護事業所【訪問介護事業】運営規程の一部改正 第6号 基準該当訪問介護事業所【介護予防訪問介護事業】運営規程の一部改正 第7号 基準該当訪問入浴介護事業所 運営規程の一部改正 第8号 基準該当訪問介護事業所【居宅介護及び重度訪問介護】運営 規程の一部改正 第9号 就労継続支援事業所『どんぐり農園グリーネ』運営規程の一部改正 第10号 評議員会の招集 《協議報告》 ①会長職務執行状況報告

■ 評議員会

法人運営に係る重要事項の議決機関として、定められた事項の決議を行うとともに、地域の福祉ニーズ等について情報共有、意見交換を行った。

<評議員会の開催状況>

開催日 場所	会議の名称 出席者	議題等
令和5年 6月23日（金） 津野町総合保健 福祉センター	第1回（定時） 評議員会 評議員10名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和4年度事業報告 第2号 令和4年度収支決算 第3号 令和5年度第1次補正予算 第4号 理事、監事の選任 《協議報告》 ①令和5年度第1回理事会報告
令和5年 12月25日（月） 津野町老人 福祉センター	第2回評議員会 評議員9名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和5年度第2次補正予算 《協議報告》 ①令和5年度第2回理事会報告 ②令和5年度役職員研修報告 ③令和5年度第3回理事会報告 ④令和5年度第4回理事会報告
令和6年 3月22日（金） 津野町総合保健 福祉センター	第3回評議員会 評議員10名 [会長、事務局2名]	《議案》 第1号 令和5年度第3次補正予算 第2号 令和6年度事業計画 第3号 令和6年度収支予算 《協議報告》 ①令和5年度第5回理事会報告

■ 監事による監査

ア) 定例監査

実施日：令和5年5月30日（火）

場 所：津野町総合保健福祉センター

監査対象：①令和4年度事業報告

②令和4年度計算関係書類及び財産目録

出席監事：石田監事、竹内監事

立 会 者：高橋会長、松岡事務局長、谷主幹

指摘事項：なし

イ) 中間監査

実施日：令和5年11月10日（金）

場所：津野町総合保健福祉センター

監査対象：①令和5年度前期事業報告

②会計伝票、月次試算表等

出席監事：石田監事

立会者：高橋会長、松岡事務局長、谷主幹

指摘事項：なし

■ 評議員選任・解任委員会

開催の必要がなく委員会は招集されなかった。

(2) 苦情解決体制

福祉サービスに対する利用者等からの苦情について、適切な対応を行うための体制やルールを定めている。

第三者委員は令和5年4月1日から3年間の新たな任期が始まり、2名の新任委員が高知県社会福祉協議会主催の「福祉サービス第三者委員ブロック別研修会」

(R6.3.7開催)に参加した。また、新たに法人全体で利用できる「苦情（相談）記録票」を整備した。

福祉サービス利用者等からの苦情として対応する案件はなかった。

<令和6年3月末現在の苦情解決体制>

種 別	氏 名	備 考
苦情解決責任者	松岡寛信	事務局長
苦情受付担当者	高橋栄樹 川上ひとみ	介護事業所管理者 就労事業所管理者
第三者委員	黒川満洋 岡崎好友 片岡啓輔	行政相談員（R3.6.22就任） 民生児童委員（R5.4.1就任） 社協評議員（R5.4.1就任）

(3) 住民会員制度

7月に会員募集を行った。個人会員については地区長や班長、また、特別会員については、町内の企業・団体等のご理解とご協力により会員を募ることができた。

<個人会員>

区 分	会員数	加入口数	金額 (円)
東地区	1, 1 0 1	1, 1 1 1	5 5 5, 5 0 0
西地区	5 4 4	5 5 4	2 7 1, 2 0 0
合 計	1, 6 4 5	1, 6 6 5	8 2 6, 7 0 0

※1口：300円で納入地区あり（1地区_29口）

<特別会員>

区 分	会員数	加入口数	金額 (円)
企 業	3 1	3 4	1 7 0, 0 0 0
団体等	8	8	4 0, 0 0 0
合 計	3 9	4 2	2 1 0, 0 0 0

(4) 事業資金の適正管理運用、情報の公開

内部牽制機能が十分に働くように留意するとともに、社会福祉法人会計基準及び本会経理規程に基づく適正な資金管理と経理事務を心掛けた。

閲覧対象となる書類や情報公開が必要な事項については、帳票又はインターネットにより公表した。

(5) 職員体制と事業推進機能

本所、支所、就労支援事業所にそれぞれ職員を配置し、業務にあたった。地域福祉事業は、3人の地域担当職員を中心に各種事業を推進した。

＜令和 6 年 3 月末現在の職員体制＞

本 所	事務局長（総務部門）1名 ※支所長兼務 主監（相談支援部門）1名 ※C S W、地域活動支援センター施設長 主任（地域福祉部門）1名 ※C S W、就労支援事業所管理者兼務 主任（福祉サービス部門）1名 ※訪問介護・入浴介護事業所管理者 主幹（総務部門）1名 主事（地域福祉部門）1名	支 所	支所長【兼務】 主監（地域福祉部門）1名 ※C S W、あったかふれあいセンター総括 非常勤職員[フルタイム] あったかふれあいセンター3名 福祉事業職員1名 非常勤職員[パートタイム] 福祉事業職員1名 配食配達員1名 日常生活支援員1名	
	非常勤職員[フルタイム] あったかふれあいセンター3名 地域活動支援センター1名 訪問介護員1名 非常勤職員[パートタイム] 看護師2名 訪問介護員2名 配食配達員2名 入浴車運転手1名 日常生活支援員1名	就 労 継 続 支 援 事 業 所	管理者【兼務】 非常勤職員[フルタイム] サービス管理責任者1名 目標工賃達成指導員1名 職業指導員3名 生活支援員2名 非常勤職員[パートタイム] 生活支援員1名 送迎車運転手1名	
部 門		正職員 ＜按分＞	非常勤_フル ＜実人員＞	非常勤_パート ＜実人員＞
法 人 本 部	総務	2.0名		
	地域福祉	3.0名	7名	1名
	相談支援	0.5名		2名
	福祉サービス	1.0名	2名	8名
就労継続支援事業		0.5名	7名	2名
計		7.0名	16名	13名

（６）社協発展強化計画策定準備

10 月に正副会長・事務局会を開催し、社協発展強化計画策定の意義や今後の方向性について検討した。

また、高原荘訪問介護事業所の廃止に伴う本会介護事業所の対応や町総合保健福祉センターの改修計画に伴う本会の事務所、事業所の在り方を職員間で協議した。

2. 啓発・福祉教育

(1) 社協だより「あくしゅ」、社協リーフレットの発行

本会の組織体制や事業、経営状況を公開するとともに、福祉情報や地域福祉活動などを発信する社協だよりを2か月に1回、奇数月に発行した。

また、7月の会員募集にあわせて「社協リーフレット」を作成し、町内全戸へ配布した。

(2) 福祉座談会

福祉委員と民生児童委員のつながりづくり、また、福祉委員の役割を周知・共有するため町内12会場で福祉座談会を開催した。

<福祉座談会の開催状況>

開催日	対象地域	参加 実人数 (人)	参加者内訳 ※重複あり			
			民生 委員	福祉 委員	地区長	その他
4月11日(火)	旧船戸小学校区 (下桑ヶ市～西の川)	13	3	9	5	0
4月17日(月)	新土居地区・三間川・ 樺の川・西谷	17	2	8	6	1
4月18日(火)	上井田・久保川・永野 地区・貝の川・川の内	9	2	4	3	0
4月21日(金)	床鍋	8	1	6	1	0
4月25日(火)	旧白石小学校区 (大川～大西)	12	1	7	4	1
	北川・大古味	7	1	5	1	0
4月26日(水)	旧郷小学校区 (古味口～日曾の川)	12	2	6	3	1
5月3日(水)	高野	14	1	6	1	6
5月11日(木)	烏出川・力石・新田・ 保井川団地・保井川・ 下野・芳生野奈路	12	3	4	5	0
5月17日(水)	旧精華小学校区 (赤木～大谷)	23	5	11	11	0
5月19日(金)	姫野々地区	8	2	5	1	0
6月30日(金)	宮谷・木桑	7	1	3	2	1
合 計		142	24	74	43	10

(3) 子ども福祉・ボランティア活動

■ ボランティア活動・福祉教育推進事業助成金交付事業

町内の小・中学校が行う地域でのボランティア活動や福祉教育、伝承活動の取り組みを支援することを目的として本会の会費を活用して助成を行った。

<助成の概要>

学校名	事業内容	交付決定額（円）
葉山小学校	芋づくり、餅つき、花植え活動を通じた地域との交流	30,000
精華小学校	校内美化・栽培活動、高齢者とのふれあい活動、クラブ活動、いきいき学習発表会	30,000
中央小学校	茶・米づくりを通じた地域との交流、伝統的食文化の学習、サロン訪問	30,000
葉山中学校	茶摘み体験、環境美化活動、地域清掃ボランティア活動、高齢者への年賀状送付	30,000
東津野中学校	神楽の伝承	30,000

■ 福祉教育・ボランティア学習の推進

3人のコミュニティーソーシャルワーカーが町内の小・中学校のコミュニティースクール、地域学校協働本部の取り組みに参加し、学校及び関係者等と連携して福祉活動に取り組んだ。

<参加状況及び事業の実施状況等>

学校名等	会議又は事業名	開催日
葉山小学校	①第1回学校運営協議会	5月30日
	②第2回学校運営協議会	7月10日
	③4年生防災学習（三間川地区）	7月19日
	④3年生高齢者疑似体験	9月13日
	⑤第3回学校運営協議会	10月23日
	⑥昔の道具体験パート1	1月22日
	⑦昔の道具体験パート2	2月9日
	⑧第4回学校運営協議会	2月19日
精華小学校	①第1回学校運営協議会	6月2日
	②第2回学校運営協議会	2月9日
葉山中学校	①第1回学校運営協議会	6月2日
	②第2回学校運営協議会	10月12日
	③地域清掃ボランティア	12月14日
	④第3回学校運営協議会	3月18日

学校名等	会議又は事業名	開催日
東津野中学校区 (中央小学区、 東津野中学校)	①第1回学校運営協議会	5月 9日
	②第2回学校運営協議会	7月 6日
	③第3回学校運営協議会	3月 4日

3. 住民主体の福祉コミュニティづくり

(1) 福祉委員活動

地域の見守り支援者として、日常生活に支障のある高齢者や障がい者、支援の必要な住民を見守り、生活上のニーズに気づき民生児童委員等の関係者へ必要な連絡ができるような活動を推進していくため福祉座談会等で福祉委員の役割の周知・共有を図った。

また、1月には地区長より新たな委員を推薦していただき、委嘱状を交付するとともに福祉委員・民生児童委員合同研修会を開催した。

<令和6年3月末現在の福祉委員の状況>

東地区：52地区_93名

西地区：29地区_67名

<福祉委員・民生児童委員合同研修会>

開催日：令和6年3月8日（金）

場 所：津野町福祉交流センター

内 容：①説明 「福祉委員制度について」
②寸劇 「津野町での見守り活動」
③座談 「地域の見守り活動 よもやま話」

参加者：福祉委員44名、民生児童委員20名

(2) 地域サロン

地域性やニーズに合わせたサロン活動が展開できるように、地域住民の主体性を尊重したサポートを心掛けた。また、世話人さんの事務的な支援、負担軽減を目的として世話人連絡会や決算大相談会を実施した。

<地域サロンの状況>

	東地区	西地区	合 計
サ ロ ン 数	23	10	33
実 施 回 数	542	185	727
参加者延べ数	4,845	1,831	6,676

<世話人連絡会>

実施日：令和5年4月10日（月）

参加者：【昼の部】 8サロン_13名

【夜の部】 10サロン_17名

<決算大相談会>

実施日時：①令和5年4月 7日（金） 9：00～11：00

②令和5年4月11日（火） 14：00～16：00

③令和5年4月12日（水） 17：00～19：00

<サロンお茶会>

実施日：令和6年2月27日（火）

参加者：【昼の部】 9サロン_17名

【夜の部】 5サロン_ 9名

（3）福祉パトロール、見守り台帳

70歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢夫婦世帯等を対象として、緊急時の連絡先やかかりつけの病院等について聞き取りを行う福祉パトロールを民生児童委員の担当地区単位で実施した。

福祉パトロール実施後には、安心・安全見守り台帳の内容を登録、更新するとともに「お守りカード」を494世帯、617人に配布した。

<福祉パトロールの実施状況>

実施日	民生児童委員	協力者数 (民委除く)	実施方式
6月14日（水）	大崎美保子	1	《訪問型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
6月20日（火）	大崎芳	9	《調査型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
6月23日（金）	田中陽子	6	《訪問型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
	三本美鈴	1	
7月 5日（水）	戸田実千代	2	《訪問型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
	橋田卓実	4	
	戸田知枝	1	
7月 7日（金）	上岡聖功	4	《訪問型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
	明神孝夫	2	
	森山生居子	3	

実施日	民生児童委員	協力者数 (民委除く)	実施方式
7月11日(火)	上岡昭夫	5	《訪問型》 集落活動センター協働
	戸田恵美子	8	
	松岡昌子	0	
7月13日(木)	高橋保章	0	《訪問型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
	西内香織	1	
7月16日(日)	大窪加代	9	《訪問型》 集落活動センター協働
	石丸吉一	3	
7月25日(火)	市川純子	5	《調査型》 民生委員＋福祉委員＋地区長
	大崎順子	4	
	西森文啓	6	
	片岡友実	4	
	前野富士男	6	
7月27日(木)	岡崎好友	4	《調査型》 民生委員＋福祉委員
8月2日(水)	西森盛幸	3	《調査型》 集落活動センター協働
	今橋正直	8	
合 計		99	

(4) あったかふれあいセンター

町から事業を受託し、町内2拠点で事業を実施した。だれもが気軽に集える拠点として、地域における交流・活躍の機会の創出、ともに支え合う関係性の構築を目指して取り組んだ。

■ あったかふれあいセンター「風のさと」

[集い]

拠点 サテライト名	開所 日数	利用者延べ数				
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合 計
拠点「風のさと」	238	695	24	299	61	1,079
㊦ 鶴松の風	49	915	0	0	0	915
㊧ せんだん	46	822	0	0	0	822
合 計		2,432	24	299	61	2,816

[集い以外の機能の利用者延べ人数（拠点合計）]

送迎	相談	訪問	つなぎ	生活支援
1,310	11	189	102	158

■ あったかふれあいセンター「星のさと」

[集い]

拠点 サテライト名	開所 日数	利用者延べ数				
		高齢者	障がい者	子ども	その他	合 計
拠点「星のさと」	239	121	1	1,155	55	1,332
㊨ いちちょうの郷	42	442	0	0	1	443
㊩ くつろぎ家	45	384	0	0	0	384
㊪ いらずのさと	43	291	0	0	13	304
合 計		1,238	1	1,155	69	2,463

[集い以外の機能の利用者延べ人数（拠点合計）]

送迎	相談	訪問	つなぎ	生活支援
548	26	385	19	62

（５）小地域福祉活動

住民主体の地域福祉活動を推進していくため、小学校区単位で地域担当職員を配置し、コミュニティーソーシャルワーカーとして小地域での福祉活動を推進した。活動にあたっては集落活動センターや自治会、民生児童委員等と連携した取り組みを心掛けた。

4. ボランティア活動と助け合いのしくみ

（１）ボランティア活動

ボランティア活動の普及、助け合いの地域づくりのキーパーソンとなる人の活動を支援するため、以下の取り組みを行った。

■ 保険加入手続き

ボランティア活動保険：１３団体_２０２名

ボランティア行事用保険：３１件

■ ボランティア連絡協議会

ア) 代表者会

実施日：令和５年５月１６日（火）

場所：津野町役場西庁舎

参加者：９名

内容：①令和４年度事業報告及び決算報告、監査報告について
②令和５年度事業計画（案）及び予算（案）について
③役員改選について
④その他

イ) 研修会

実施日：令和５年１１月３０日（木）

場所：佐川町方面

参加者：１９名

内容：牧野公園はなもり C-LOVE の取り組みについて

■ 24時間テレビ「愛は地球を救う」チャリティーキャンペーン

[窓口募金]

受付期間：令和5年8月1日（火）～8月31日（木）

受付場所：①東会場…社協本所、②西会場…社協西支所

[対面募金]

受付期間：令和5年8月27日（日） 10：30～14：30

受付場所：道の駅「布施ヶ坂」

[募金額]

津野町会場での募金総額：209,028 円

（２）住民参加型助け合い制度「ほっとサービス」

地域住民の参加と協力により、高齢者等の日常生活の支援を行った。

<ほっとサービスの実施状況>

実施日	地区名	協力者数	延べ 稼働時間	サービス内容
8月29日（火）	三間川	3	7.5	庭木のせん定
9月10日（日）	大野	1	1.5	粗大ごみの処理
12月10日（水）	新田	1	1.0	窓ふき
合 計		4	10.0	

（３）ふれあい配食サービス

東地区では毎月4回、西地区では毎月3回を原則として、住民ボランティアの協力により、一人暮らし高齢者等の自宅へ昼食の弁当を配達した。

<ふれあい配食サービスの実施状況>

区 分	月	提供 回数	利用者 実人員	提供 食数	ボランティア延べ数		
					調理	配達	合計
東地区	4月	4	82	319	27	41	68
	5月	4	82	310	28	38	66
	6月	4	82	299	26	36	62
	7月	4	79	304	27	42	69
	8月	4	77	286	27	40	67
	9月	4	72	271	28	43	71

区 分	月	提供 回数	利用者 実人員	提供 食数	ボランティア延べ数		
					調理	配達	合計
東地区	10月	4	72	278	27	42	69
	11月	4	74	284	24	35	59
	12月	2	73	140	15	22	37
	1月	4	74	288	24	44	68
	2月	4	73	287	29	48	77
	3月	4	71	272	27	46	73
	小 計	46	911	3,338	309	477	786
西地区	4月	3	69	186	19	23	42
	5月	3	69	192	23	24	47
	6月	3	65	176	19	19	38
	7月	3	60	168	17	17	34
	8月	3	59	172	18	19	37
	9月	3	58	162	19	23	42
	10月	3	61	175	22	25	47
	11月	3	58	165	14	23	37
	12月	2	57	106	15	13	28
	1月	3	59	159	18	21	39
	2月	3	59	159	16	24	40
	3月	3	55	158	18	24	42
	小 計	35	729	1,978	218	255	473
合 計		81	1,640	5,316	527	732	1,259

(4) 災害ボランティアセンター事業

災害ボランティアセンター設置・運営マニュアルの見直し作業を行った。また、防災関係の研修会等に積極的に参加した。

5. 生活課題に向き合う総合相談

(1) 生活困窮者自立相談支援事業

県からの受託事業。地域住民からの生活課題に対する様々な相談に応じるとともに、複合的かつ困難な課題を抱える相談者にも寄り添いながら、関係機関と連携しながら自立に向けた支援に取り組んだ。

相談受付件数等については、以下のとおり。

- ・ 相談受付件数：16件
- ・ 計画評価件数：10件（継続：6件、終結：4件）
- ・ 計画作成件数：12件（初回：6件、再：6件）
- ・ 支援の状況

月	支援計画				合 計	
	作成者		未作成者			
	実人数	延べ 支援回数	実人数	延べ 支援回数	実人数	延べ 支援回数
4月	7	2 6	1 1	1 3	1 8	3 9
5月	7	1 8	1 3	3 2	2 0	5 0
6月	7	4 1	1 4	3 8	2 1	7 9
7月	7	2 1	1 5	4 5	2 2	6 6
8月	7	2 3	1 6	3 5	2 3	5 8
9月	7	4 6	1 6	5 1	2 3	9 7
1 0月	9	4 0	1 4	4 9	2 3	8 9
1 1月	8	2 8	1 5	4 3	2 3	7 1
1 2月	1 1	5 1	1 0	1 6	2 1	6 7
1月	1 1	5 9	8	8	1 9	6 7
2月	1 1	2 9	8	6	1 9	3 5
3月	9	2 4	8	7	1 7	3 1
合 計	1 0 1	4 0 6	1 4 8	3 4 3	2 4 9	7 4 9

(2) 法律講演会、無料弁護士相談

法テラス須崎法律事務所及び須崎ひまわり基金法律事務所の協力を得て、以下のとおり実施した。

<法律講演会>

実施日：令和5年7月4日（火）

場 所：津野町総合保健福祉センター

内 容：講演①「終活～最後まで自分らしくあるために～」

須崎ひまわり基金法律事務所 三上翔平 弁護士

講演②「エンディングノートについて」

法テラス須崎法律事務所 高橋新 弁護士

参加者：27名

<無料弁護士相談>

	実施日	場 所	担当弁護士	相談 件数
第1回	5月16日（火）	津野町老人 福祉センター	西浦嘉博 弁護士	2
第2回	8月22日（火）	津野町総合保健 福祉センター	三上翔平 弁護士	3
第3回	11月21日（火）	津野町老人 福祉センター	高橋 新 弁護士	2
第4回	2月20日（火）	津野町総合保健 福祉センター	三上翔平 弁護士	1

(3) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方の福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理についての支援を専門員と生活支援員が連携して行った。

契約件数等については、以下のとおり。

- ・ 契約件数（令和6年3月末現在）：3件
- ・ 支援回数：51回（生活支援員：44回、専門員：7回）
- ・ 相談件数：32件

(4) 生活福祉資金貸付相談事業

経済的な事情により資金の貸付が必要な方の相談に応じるとともに、各種事務手続きの援助を行った。

新規貸付件数等の状況は、以下のとおり。

- ・ 新規貸付件数：0 件
- ・ 相談件数：1 8 件
- ・ 事務手続援助件数：9 件（免除申請：5 件〔特例〕、月額変更：2 件〔特例〕、猶予申請：1 件、住所変更：1 件）

(5) 法人成年後見受任体制整備

法人後見の実施については一定の必要性を感じているが、町の中核機関と課題共有や今後の方向性について検討する機会を持てなかった。

6. 在宅介護・在宅支援

(1) 訪問介護

介護保険法に基づき要介護者等への訪問介護サービスを以下のとおり提供した。

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供	
				延べ回数	延べ時間数
4 月	1 1	0	0	8 3	6 8 . 5 0
5 月	1 0	0	2	8 3	6 9 . 0 0
6 月	8	0	0	7 5	5 8 . 0 0
7 月	9	0	0	7 9	6 2 . 0 0
8 月	9	0	0	8 2	6 4 . 5 0
9 月	1 0	1	0	9 0	7 0 . 5 0
1 0 月	1 2	2	0	1 0 4	8 2 . 5 0
1 1 月	1 2	1	1	1 0 7	8 7 . 0 0
1 2 月	1 4	2	0	1 4 1	1 0 6 . 5 0
1 月	1 3	0	1	1 2 5	1 0 0 . 0 0
2 月	1 4	1	0	1 4 0	1 0 9 . 2 5
3 月	1 2	0	1	1 4 2	1 0 1 . 0 0
合 計	1 3 4	7	5	1 , 2 5 1	9 7 8 . 7 5

(2) 訪問入浴介護

訪問入浴サービスを以下のとおり提供した。

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供 延べ回数
4月	2	0	0	8
5月	2	0	0	6
6月	2	0	0	10
7月	2	0	0	8
8月	2	0	0	10
9月	2	0	0	8
10月	2	0	0	7
11月	1	0	1	4
12月	1	0	0	4
1月	1	0	0	4
2月	1	0	0	4
3月	1	0	0	3
合 計	19	0	1	76

(3) 福祉用具貸出し

安全に在宅生活を送ることができるように電動ベッド、車いすの貸出しを行った。
月別の利用実人数は、以下のとおり。

月	電動ベッド		車いす	
	長期	短期	長期	短期
4月	16	0	6	4
5月	16	0	6	4
6月	16	0	6	1
7月	16	0	6	0
8月	17	0	7	1
9月	16	0	7	3

月	電動ベッド		車いす	
	長期	短期	長期	短期
10月	16	2	6	1
11月	16	0	6	6
12月	16	0	7	2
1月	16	0	7	4
2月	16	0	7	5
3月	17	0	7	3
合 計	194	2	78	34

(4) 生活支援型配食サービス

町から事業を受託し、調理は町内の施設・事業者、配達は本会の職員が行った。
提供実績は、以下のとおり。

区 分	月	提供食数	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数
普通食	4月	172	10	2	0
	5月	166	10	0	2
	6月	148	9	0	0
	7月	163	10	1	0
	8月	144	10	0	0
	9月	150	10	0	0
	10月	161	10	0	0
	11月	119	10	0	1
	12月	117	9	0	0
	1月	113	9	0	0
	2月	110	9	1	2
	3月	83	6	0	2
	小 計	1,646	112	4	7

区 分	月	提供食数	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数
特別食	4 月	7 2	4	0	0
	5 月	7 3	4	0	0
	6 月	7 1	4	0	0
	7 月	5 9	4	0	1
	8 月	6 2	3	0	0
	9 月	5 7	3	0	0
	1 0 月	5 8	3	0	0
	1 1 月	5 7	3	0	0
	1 2 月	5 9	3	0	0
	1 月	5 9	3	0	0
	2 月	7 0	4	1	0
	3 月	9 1	4	0	0
	小 計	7 8 8	4 2	1	1
合 計		2, 4 3 4	1 5 4	5	8

7. 障がい者地域生活支援

(1) 地域活動支援センター

町から事業を受託し、地域活動支援センターの運営にあたり、障がいのある方に創作活動や生産活動の機会を提供するとともに、社会との交流を促進し、障がい者の地域生活を支援した。

各種事業の実施状況は、以下のとおり。

月	わきあいあい広場			わきあいミニ		地活 Room	
	実施日	参加者		実施回数	参加者延べ数	実施回数	参加者延べ数
		障がい者	ボランティア				
4月	25日(火)	3	5	4	3	2	1
5月	23日(火)	5	4	4	3	2	4
6月	22日(木)	4	2	4	3	2	1
7月	12日(水)	5	2	4	4	2	3
8月	31日(木)	2	3	3	2	1	0
9月	27日(水)	5	6	4	6	2	1
10月	11日(水)	6	1	4	3	4	1
11月	16日(木)	2	2	4	3	4	2
12月	15日(金)	5	2	4	1	2	1
1月	23日(火)	3	4	4	1	2	2
2月	22日(木)	5	6	4	3	4	4
3月	19日(火)	4	3	4	4	4	6
合 計		49	40	47	36	31	26

また、本会の担当部署として、障がい児を対象とした「わくわくふれあいデー」を以下のとおり実施した。

- ・ 実施期間：令和5年7月25日(火)～令和6年3月26日(火)
- ・ 実施回数：14回(夏季：12回、冬季：1回、春季：1回)
- ・ 参加者延べ数：123人 ※利用実人数：18人
- ・ ボランティア延べ数：94人

(2) 障害居宅介護

障害者総合支援法に基づき障がい者への訪問介護サービスを以下のとおり提供した。

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	サービス提供	
				延べ回数	延べ時間数
4月	7	0	1	32	34.0
5月	8	0	0	30	32.5
6月	8	0	0	46	48.0
7月	8	0	0	48	50.0
8月	8	0	0	45	47.5
9月	8	0	0	47	49.0
10月	8	0	0	43	45.5
11月	8	0	0	45	47.0
12月	8	0	0	49	51.5
1月	8	0	0	35	35.0
2月	7	0	1	35	37.0
3月	7	0	0	36	37.5
合 計	93	0	2	491	514.5

(3) 移動支援事業

町からの受託事業で、障がい者の移動の支援を訪問介護員が行った。

<サービス提供実績>

利用実人数：1人

サービス提供回数：5日

サービス提供時間数：28時間

(4) 日中一時支援事業

町からの受託事業で、障がい者等を日常的に介護している家族の一時的な休息の確保を目的とする事業。

令和5年度はサービス提供実績はなかった。

8. 就労継続支援B型事業所

(1) 事業運営

障害福祉サービス就労継続支援B型事業所として、どんぐり農園グリーネ・作業所里楽を一体的に運営した。

4月に管理者を交代し、管理者たる正職員1名（兼務）と非常勤職員9名で事業所の運営にあたった。また、法人全体で虐待防止に向けての取り組みを進めるとともに感染症対策指針や業務継続計画を策定した。

サービスの利用状況等については、以下のとおり。

月	利用者 実人数	新規 契約者数	契約 終了者数	利用者延べ人数		
				どんぐり	里 楽	合 計
4月	21	0	0	120	186	306
5月	21	0	0	126	179	305
6月	19	0	0	131	190	321
7月	19	0	0	118	171	289
8月	18	0	0	125	181	306
9月	18	0	1	125	169	294
10月	17	0	0	124	157	281
11月	17	0	0	127	167	294
12月	17	0	0	125	167	292
1月	18	0	0	106	146	252
2月	17	0	0	113	161	274
3月	17	0	1	111	154	265
合 計	219	0	2	1,451	2,028	3,479

(2) 就労支援

利用者の障がいの程度や能力に応じて、以下の作業により就労支援を行った。

区 分	作業内容	備 考
どんぐり農園	農作業（花苗・ハナニラの栽培） 公共施設の清掃	かおりの里づくり推進会議から花苗の受注
作業所里楽	クッキーを中心とする菓子製造 公共施設の清掃	葉山中学校PTA活動と連携

9. 共同募金事業、日赤事業

(1) 共同募金事業

共同募金推進計画に基づいてそれぞれ募金活動を行った。

歳末たすけあい運動は、津野町産業祭の会場で募金を募り、集落活動センターや地域団体等に調理・配達の協力を得て、高齢者世帯や生活困窮世帯等へ歳末特別弁当をお届けした。

また、能登半島地震災害義援金を受け付け、高知県共同募金会に送金した。

<赤い羽根共同募金>

募金実績額：1,176,642 円

本会が受けた助成額：852,000 円

助成を受けて実施した事業：ふれあい配食、福祉パトロール、社協だより

<歳末たすけあい募金>

募金実績額：112,898 円

本会が受けた助成額：112,898 円

助成を受けて実施した事業：歳末特別配食

<歳末特別配食の実施状況>

実施日	場 所	食数	協力者数	
			調理	配達
11月26日(日)	集落活動センターしらいし	30	5	4
12月19日(火)	総合保健福祉センター	129	18	16
	老人福祉センター	87	13	11
12月21日(木)	久保川生活改善センター	69	6	11
12月22日(金)	集落活動センターふなと	49	11	5
12月23日(土)	集落活動センター奥四万十の郷	30	13	6
合 計		394	66	53

<能登半島地震災害義援金>

受入義援金実績額：128,625 円

(2) 日本赤十字社事業

赤十字事業の啓発に努め、その活動資金の募集を5月の赤十字会員増強月間に行った。

<資金募集活動実績と期末積立金額>

実績額：890,000 円

災害積立金：137,482 円

10. 福祉団体の活動支援と連携

各団体の事業計画に基づき、それぞれの事業運営が円滑に行われるよう支援した。事務局として活動を支援した団体は、次のとおり。

- ・ 津野町民生児童委員協議会
- ・ 津野町老人クラブ連合会
- ・ 津野町障がい（児）者連合会
- ・ シルバー介護士会「ひだまり」

